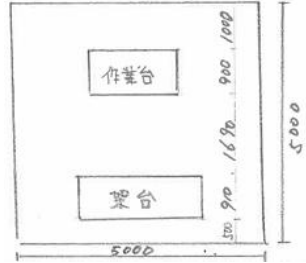


	Q	A
1	作業仕様① ハイポリックシーラーは全面塗りますか？	全面に塗ります。
2	アースタック下地はボーダー部分も塗りますか？	ボーダー部分にも塗ります。
3	パーミキュライトの号数はいくつですか？	鹿沼興産のパーミキュライト粒サイズは約1～3mmのものを使用します。
4	紅サンゴは1～3mmで間違いないですか？	はい。
5	材料に寒水とありますが、全て白竜に変更で間違いないですか？	すべて白竜です。
6	蛇腹の上塗りペーストの配合も記載してほしいです。	白セメントと普通セメント1：1です。
7	幅木まわり木下地詳細図の46mm柱の下は4mmのベニヤのみでしょうか？	4mmベニヤのみです、同じ塗厚で結構です。敢えてふかさなくてよいです。
8	左袖壁漆喰仕上げについて、前日に塗ったBドライに村樫のしっくいを塗るのは、水が引いて漆喰押さえができないように思います。	再度、Bドライ中塗りをした翌日に漆喰を塗って施工しました結果、可能です。なお、角おこし等に使用する材料用に石灰粉をかたさ調整材として配布いたします。
9	「材料を当日の下地状況により調整して支給する」と聞きましたが、どの程度の水引に合わせるか公表してほしい。	別紙参照
10	戸田工業の紅梅はかなり古い品番で同じものが手に入りません。	本番では富澤建材の商品を配布しますが、訓練時は近いもので代用してください。
11	持ち送りが取り付く木下地 1 4 3 の寸法について、下塗り材を塗ると 1 4 1 程度の寸法になると予想します。前づらに通りの墨を出すように指示があったが、一ミリしかクリアランスがないところに墨を打つのはなぜですか？	持ち送りが収まるか確認するためです。
12	正面付け柱のW 1 0 0 の巾木ですが、かき落とし仕上げとしっくい仕上げとの取り合いの収まりはどのようなのでしょうか？ また、その巾木部分には下地はないのでしょうか？	巾70mm厚み15mmのコンパネに下塗りをした状態にしておきます。
13	床ボーダー厚み 1 0 ミリとありますが、支給された定規で施工するとすると、厚み 1 2 ミリと思われるが、1 0 ミリで間違いないのですか？	支給定木の厚みに準じますので、12mmとなります。
14	砂壁仕上げについて、角は二分の面引きで下地が透けないように仕上げるとなっていますが、ボードファイラーの下地は面を引いてありますか？	二分の丸面を引いて選手に渡します。
15	youtubeでは、チリ周りのすさは「ひだしで」と言っていますが、修正された仕上げ表では「中塗りスサ」となっていますが、どちらが正しいですか。	ひだしが正しいです。
16	動画では腰壁の洗い出し、下地のそのまま目地棒取り付けていますが、作業説明時はモルタルを塗り、目地棒を取り付けると話していますが、どちらで作業すればよいか。	下地の上にノロで先づけします。その後ドカモルにて下塗りをします。 腰壁洗い出しは、先にノロで目地棒を取り付け、その後選手自身が硬化剤を入れて調整したドカモルにて下塗りをします。
17	持参工具において、サイズや数量に具体的に縛りがあるものは具体的な数字を書いてください。	持参工具一覧表に準じます。架台寸法に適した寸法の道具を持参してください。
18	かき落とし仕上げのふち周りの押える寸法も明確に作業仕様に記載してほしい。	両袖壁とかき落としの入隅のふち巾は5mmとします。

19	左袖壁の格子部分の寸法について、下地図面通りに作成し中塗り墨を出すと、内側から見て格子の三本柱が左に5mm程ずれているように思います。左側の塗り圧が2～3mm、右側が12～15mmになるのでは？	正面壁のかき落としのBドライ下塗りが3mmでかき落としは10mm塗りつけ、2mmかいて8mm仕上げです。合計11mmでおさめてください。 左側砂壁の塗り厚は、下地ボードフィラーは1mm以下で砂壁仕上げ、合計で2mmでおさめられると思います。
20	天井と正面の漆喰塗り部の競技開始前下地は、ハイボリックシーラー塗布～ボードフィラー施工後にMKプラスター施工になるのでしょうか。 競技前の下地施工方法により、下地厚みが変わるため、置き引き貼り付け後の隙間の寸法が変わるので教えてください。	ハイボリックシーラー塗布、ボードフィラー施工後、MKプラスター施工です。こちらで3mmの隙間（逃げ）を調整してください。
22	支給部材の置き引き用スタイロフォーム（910×50×L1820）は、置き引きに使用後、加工してほかの用途で使用してもよいでしょうか？	スタイロフォームは置き引き作業専用で用意するものです。他の用途には使用しないでください。
23	左右の袖壁外部の垂直止め板の課題からの出寸法と、架台自体が垂直に設置してあるのか教えてください。墨出し作業を行うためにお聞きしたいです。	左右の袖壁外部の垂直止め板からの寸法だしはできません。虫籠窓枠の出を、内外揃えるためには、外側もレーザーレベルで墨出しが必要です。ボーダーの墨より、レーザーレベルでかねをまいて出す方法が良いと思います。 大会当日は、レーザーレベル置き台（150cm角、架台床の高さに揃えたもの）を支給します。
24	置き引き提灯のR部と直線部の置き引き型は、2種類同時使用しても良いですか？	提灯置き引き型はひとつのみの持ち込みとしてください。同時使用は不可
25	19の回答通りに寸法を出すと、架台全面から500が芯になると思いますが、図面通りに寸法を出すと505になると思いますが。500が芯で間違いありませんか？	左袖壁内側の詳細図を作成しました。参考にしてください。（別紙） あくまでも700mmの有効寸法で考えてください。
26	全ての材料において、調整用の粉は配布されますか？	かき落とし、砂壁以外は支給します。
27	配置図レイアウトを公開してほしいです。	現段階の予定です。 多少の変更はあります。 
28	合宿で「置き引きの作業台を改良する」とお話がありましたが、改良後の写真を公開してほしいです。	筋交いを増やしガタつくのを少なくする程度の変更です。
29	正面左の袖壁に有る虫籠窓と、中の実柱の角測りを施工する際に、時間的に実柱3つ同時に角測りしたいのですが、その場合今予定している4枚の検定定木だと足りません。実柱と虫籠窓は別で考えて検定定木を4枚から8枚に増やす事は可能ですか？ 漆喰の仕上げの角測りにも転用するので、切りながら使い回しができないので増やして頂けると助かります。	検定定木を8枚支給するようにします。